

令和3年度学校評価委員会(評価結果)

1、評価(別紙アンケート結果参照)

令和3年度の目標 『社会に役立つ主体性のある生徒を育成する』

- ・授業の充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。
- ・ルールを遵守し、礼儀を持って人と接することにより、他人を敬う心を身につける。
- ・基本的生活習慣を家庭、学校と連携し身につける。
- ・ボランティア活動等で地域に貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。

① 令和3年度の評価

ア 評価できること

- ・ロボット、レゴを利用した授業は基本と創意の両面を持ち現代の生徒にマッチしていて良い。
- ・明るく大きな声で挨拶をしてくれる生徒が多く好感が持てる。
- ・少人数制の授業は一人一人に目を配ることができ生徒の意見を取り入れる工夫があり良い。
- ・資格取得には協力的で生徒の自主性と自信につながる結果が出てき始めている。
- ・授業全般で分かりやすく理解するまで教えてくれる授業が多い。
- ・ボランティア活動を行うことで「精神的な成長ができた」「役に立つことができた」等自己肯定感を高め、幸福感を得る生徒が増えてきた。

イ 改善が必要なこと

- ・タブレットを使用した授業をもっと増やしたほうが良い。これらを利用した生徒に対してインパクトのある授業ができるよう工夫が欲しい。
- ・生徒の「主体性」を感じさせる授業が少なく感じた。一斉授業で一方向的に進めている授業が多く感じた。生徒自身に考えさせる授業の工夫が欲しい。
- ・大学受験に向けた授業をもっと充実させてほしい。
- ・授業を充実させるための工夫としてICT等の新しい挑戦がまだまだ不足していた。準備、興味を引く内容の研究が必要である。
- ・服装や髪型が全員満足いくところまで徹底できなかった。
- ・交通マナーが悪く、苦情があった。違反切符も増加し昨年を大きく上回ったのは大きな課題である。
- ・遅刻数が昨年を上回り、基本的生活習慣が身につけていない。家庭との協力が必要である。
- ・社会、校内のルールを守るように全職員で徹底する。
- ・実社会、地域との連携(ボランティア等)が昨年に比べ積極的傾向ではあるがまだまだ不足している。精神的成長を促すためにも規模の拡大、回数とも増やしたい。

- ② 4年度の目標・課題 コロナ渦もあり十分な成果が得られなかった項目があり、来年度も同目標で行うこととした。

目標 『社会に役立つ主体性のある生徒を育成する』

- ・授業の充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。
- ・ルールを遵守し、礼儀を持って人と接することにより、他人を敬う心を身につける。
- ・基本的生活習慣を家庭、学校と連携し身につける。
- ・ボランティア活動等で地域に貢献し、自己肯定感、幸福感を高め個々に自信をつけさせる。

2、評価の公開について

- ・学校通信 「静清だより」
- ・ホームページ
- ・校内掲示